



第53号

2019年11月

発信元：地域連携室

医療法人社団 広恵会 春山記念病院

〒169-0073 東京都新宿区百人町1-24-5 TEL 03-3363-1661 FAX 03-3371-1021
<https://www.haruyama-hosp.com> e-mail : info@haruyama-hosp.com

急性アルコール中毒のお話し

脳神経外科
小林 聰

今年も早いもので、師走の声がきこえる頃となり、皆さんもこれから忘年会シーズンを迎え、お酒を飲む機会が増えるのではないかでしょうか。この季節、東洋一の歓楽街と言われる歌舞伎町の近くにある当院へは、急性アルコール中毒の患者さんが度々救急搬送されてきます。



急性アルコール中毒は短時間に多量のお酒を飲むことにより、血中アルコール濃度が急上昇して脳に影響を与える状態をいいます。

アルコール（エタノール）は主に小腸から吸収され、大部分が肝臓で代謝分解されます。しかし急速に飲みすぎると肝臓での代謝が間に合わなくなり、アルコールは代謝されずに血液に乗って全身をめぐり、脳の神経細胞を麻痺させます。

血中アルコール濃度が上昇するにしたがって、「ほろ酔い→酩酊→泥酔→昏睡」となり意識レベルが低下します。急性アルコール中毒により死亡する場合、血中アルコール濃度が高まることによって呼吸、循環中枢が抑制されて死に至る場合と吐物による窒息で死亡する場合があります。また死亡には至らなくとも足下のふらつきなどによって転倒したり、交通事故にあってしまったり、もうろう状態で行った言動によってトラブルに巻き込まれるなど、さまざまな危険性が高まります。

また、同じ量のアルコール摂取でも体が小さい方や女性、少量のお酒で顔が赤くなる方や普段お酒を飲まない方等は、急性アルコール中毒になる危険性は高まります。

急性アルコール中毒にならないために気をつけるポイントとしては、空腹の状態でお酒を飲むと一気に吸収されやすいので、食事もとりながらゆっくりと飲むことです。

「酒は百薬の長」という言葉もあります。一気飲みや、無理強いは絶対にいけません。楽しく安全にお酒と付き合いましょう。



薬局だより

今回は、お薬の飲み方とお薬手帳のお話しを少しさせていただきます。

●薬の飲み方を理解していますか？

- 起床時：朝起きてすぐ飲む。
食直前：食事をする直前に飲む。
食 前：食事をする約30分前に飲む。
食 後：食事をした約30分後に飲む。
食直後：食事をした直後に飲む。
食 間：食事をした後約2時間過ぎてから飲む。（食事の途中ではありません）
寝る前：寝る直前に飲む。
頓 用：症状がでた時に飲む。（飲める回数、間隔、1回量に注意してください）



食事の影響で効果が下がる薬、他の薬と一緒に飲むと他の薬の効果を下げる薬、血糖値のコントロールをする薬など、飲む時間に注意が必要な薬があるので決められた時間を守ってください。

病気を早く治したい、症状を抑えたいと思い、決められた服用量以上に飲んだり、飲み忘れた分をまとめて飲んだりするのは副作用の原因になるので避けてください。

●お薬手帳活用していますか？

薬手帳を活用して飲んでいる薬を管理しましょう。
現在飲んでいる薬、過去に飲んでいた薬の記録になり、特に副作用のあった薬を記録しておくことは再度服用することを避けるためには大切です。

また、複数の医療機関に受診している方はたくさんいらっしゃると思います。薬の相互作用、同じ薬を重複して服用することを避けるためにも活用してください。（薬の名前が違っても、成分が同じ薬がたくさんあり注意が必要です）



数字で見る!! 春山記念病院



2019年4月～2019年9月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
外来患者延べ数	5,334	5,238	5,146	5,201	5,104	4,737	30,760
入院患者延べ数	2,938	2,964	2,790	2,946	3,000	2,836	17,474
搬送救急車台数	352	354	393	359	374	312	2,144
手術件数	120	127	104	92	97	93	633